



プログラム 大会 1 日目 3 月 17 日 (土)

第1会場 (パシフィコ横浜1F メインホール)

大会長講演 ----- 10:30 ~ 11:30

座長：旭川医科大学病院 薬剤部 田崎 嘉一

Oncology Pharmacist の原点
- 未来へはばたく薬剤師へのメッセージ -

東京歯科大学市川総合病院 薬剤部 川尻 尚子

ランチョンセミナー 1 ----- 11:50 ~ 12:50

EGFR-TKI の上手な使い方

座長：九州大学病院 増田 智先

LS1-1 「EGFR-TKI の最新情報」

京都大学大学院医学研究科呼吸器科内科学 金 永学

LS1-2 「チームで取り組む EGFR-TKI の副作用マネジメント」

京都大学医学部附属病院 薬剤部 池見 泰明

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

シンポジウム 1 ----- 13:45 ~ 15:15

Oncology Pharmacist に必要な薬剤師力

～がん治療で遭遇する症状を見極めるスキルを身につけよう～

オーガナイザー：日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 葉山 達也

オーガナイザー・座長：東京歯科大学市川総合病院 薬剤部 今井 洋志

座長：日本医科大学武蔵小杉病院 勝俣 範之

S1-1 肺癌術後化学療法後、経過観察中に頭痛を訴えた 30 代女性

東京医科大学病院 薬剤部 東 加奈子

S1-2 dose-dense TC(パクリタキセル+カルボプラチン)療法中の 50 代女性が腹痛を訴えた症例

日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 此松 晶子

S1-3 進行大腸がんに対し mFOLFOX6 療法を開始後、下痢を起こした 60 代女性

新須磨病院 薬剤科 西海 一生

S1-4 再発乳がん ベバシズマブ+パクリタキセル療法中の 60 歳代女性が咳嗽・労作時息切れを訴えた症例

杏林大学医学部附属病院 薬剤部 臼井 浩明





特別講演 1 _____ 15:30 ~ 16:30

座長：国立国際医療研究センター病院 薬剤部 栗原 健

がん薬物療法を担う薬剤師のこれからの役割と期待

厚生労働省 大臣官房審議官（医薬担当） 森 和彦

特別講演 2 (Plenary Lecture) _____ 16:45 ~ 17:45

座長：国立がん研究センター東病院 薬剤部 鈴木 真也

Breaking Boundaries: Expanding Roles of Clinical Pharmacy Specialists at Memorial Sloan Kettering Cancer Center (MSKCC)

Memorial Sloan Kettering Cancer Center Larry W. Buie, PharmD, BCOP, FASHP

小林がん学術振興会助成

第2会場 (パシフィコ横浜 5F 501+502号室)

教育講演 1 _____ 10:00 ~ 11:00

座長：済生会横浜市南部病院 薬剤部 佐藤 透

平成 30 年度診療報酬改定について

(医療機関・薬局の薬剤師に関連する事項)

厚生労働省保険局医療課 板垣 麻衣

ランチョンセミナー 2 _____ 11:50 ~ 12:50

免疫チェックポイント阻害薬のチーム医療

座長：神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 腫瘍・血液内科学分野 南 博信

LS2-1 尿路上皮癌の薬物治療における新たな展開

原三信病院 泌尿器科 横溝 晃

LS2-2 泌尿器科領域における免疫チェックポイント阻害薬の適正使用推進

九州大学病院 薬剤部 渡邊 裕之

共催：MSD 株式会社 / 大鵬薬品工業株式会社

Oncology セミナー 1 _____ 13:15 ~ 15:15

オーガナイザー・座長：社会医療法人敬愛会中頭病院 薬剤部 山本 紗織

座長：昭和大学横浜市北部病院 薬局・病院薬剤学講座 縄田 修一

乳がん治療におけるチーム医療 ～症例を通して知る他職種の視点～

OS1-1 乳がん治療におけるチーム医療 ～医師の立場から考える患者支援～

横浜労災病院 包括的乳腺先進医療センター 乳腺外科 千島 隆司

OS1-2 乳がん治療におけるチーム医療 ～看護師の立場から考える患者支援～

聖マリアンナ医科大学病院 看護部 古川 尚美

OS1-3 乳がん治療におけるチーム医療 ～薬剤師の立場から～

社会医療法人敬愛会中頭病院 薬剤科 山本 紗織

OS1-4 乳がん治療におけるチーム医療～医療ソーシャルワーカーの立場から～

東京共済病院 がん相談支援センター 大沢 かおり

中外製薬株式会社共催セミナー 15:30 ～ 15:15

座長：国立病院機構東京医療センター 薬剤部 大橋 養賢

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 小井土啓一

外来化学療法中に遭遇する“発熱性好中球減少症（FN）”についてより深く考えてみる

中外製薬株式会社共催セミナー 1 外来における発熱性好中球減少症の治療戦略

聖路加国際病院 感染症科 森 信好

中外製薬株式会社共催セミナー 2 乳癌術後補助化学療法（EC療法）施行中に発熱をきたした30代女性

中津市立中津市民病院 薬剤科 上ノ段 友里

中外製薬株式会社共催セミナー 3 食道胃接合部癌でRAM+PAC療法施行中に発熱をきたした50代男性

静岡県立静岡がんセンター 薬剤部 望月 敬浩

中外製薬株式会社共催セミナー 4 悪性リンパ腫（DLBCL）でR-CHOP療法施行中に発熱をきたした70代男性

川崎医科大学附属病院 薬剤部 榎枝 大貴

共催：中外製薬株式会社

第3会場 (パシフィコ横浜5F 503号室)

シンポジウム 2 10:00 ～ 11:30

オーガナイザー・座長：国立病院機構北海道がんセンター 薬剤部 玉木 慎也

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 葉山 達也

保険薬局薬剤師の病院での研修について考える

S2-1 病院研修を経験して感じた外来化学療法における保険薬局の課題と取り組み～地域医療を支える薬局薬剤師を目指して～

株式会社アインホールディングス 松村 敦子

S2-2 保険薬局薬剤師がん薬物療法研修事業の現状と問題点

国立がん研究センター東病院 市田 泰彦

S2-3 病院研修推進にむけて保険薬局管理者の立場から

株式会社ナカジマ薬局 調剤事業部 谷口 亮央



ランチョンセミナー 3 ————— 11:50 ~ 12:50

座長：医療法人鉄薫会 亀田総合病院 舟越 亮寛

LS3 胃癌治療の今後の展望

国立がん研究センター東病院 消化管内科 坂東 英明

共催：日本イーライリリー株式会社

シンポジウム 3 ————— 13:15 ~ 14:45

オーガナイザー・座長：総合メディカル株式会社 そうごう薬局天神中央店 下川友香理

長崎大学病院臨床研究センター 山本 弘史

外来がん治療認定薬剤師が保険薬局で外来がん治療患者にできること

S3-1 望星薬局における電話サポートの取り組み～窓口だけに収まらない患者との関わりを持つために～
望星薬局 久田 健登S3-2 プロトコールに基づき病院と保険薬局が協働で行う経口抗がん薬治療管理
長崎大学病院 臨床研究センター 山本 弘史S3-3 薬局（株）ミズにおける多面的ながんサポートへの取り組み
(株)ミズ 溝上薬局 八坂 瑞臣S3-4 そうごう薬局における外来がん薬物治療患者への保険薬局クリニカルパスを用いた支援
総合メディカル株式会社 そうごう薬局天神中央店 吉田 志保S3-5 全国薬局薬剤師 APACC のアンケートをもとに総合討論
指定発言 国立がんセンター東病院 薬剤部 松井 礼子

シンポジウム 4 ————— 15:00 ~ 17:00

オーガナイザー・座長：慈山会医学研究所附属坪井病院 薬剤部 伊與田友和

地方独立行政法人栃木県立がんセンター 薬剤部 吉澤 朝枝

原点回帰！ Oncology Pharmacist 未来への mission ～次世代を担う薬剤師へ～

S4-1 大学病院における Oncology Pharmacist の育成
岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 飯原 大稔S4-2 民間病院における Oncology Pharmacist の育成
慈山会医学研究所附属坪井病院 薬剤部 伊與田友和S4-3 がん専門病院における Oncology Pharmacist の育成～レジデントを経て～
国立がん研究センター東病院 薬剤部 篠原 旭S4-4 保険薬局で目指す Oncology Pharmacist
クオール株式会社 クオール薬局郡山2号店 菅野 友美S4-5 Oncology Pharmacist 育成のための大学教育
東北医科薬科大学 薬学部 病院薬剤学教室 岡田 浩司



第4会場 (パシフィコ横浜3F 303+304号室)

シンポジウム 5 ----- 10:00 ~ 11:30

オーガナイザー・座長：聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 湊川 紘子

国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院 薬剤部 橋口 宏司

薬剤師もできる！薬剤師だからできる！アピアランスケアを考える

S5-1 医療者によるアピアランスケアとは

国立がん研究センター中央病院アピアランス支援センター 野澤 桂子

S5-2 アピアランスケアにおける薬剤師の役割、薬剤師ができるアピアランス支援

国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 薬剤部 矢内 貴子

S5-3 保険薬局における外来がん薬物治療患者へのアピアランスケア

総合メディカル（株） そうごう薬局 天神中央店 下川友香理

ランチョンセミナー 4 ----- 11:50 ~ 12:50

座長：東京歯科大学市川総合病院 薬剤部 川尻 尚子

LS3 「広がるオピオイドの選択肢 ～ヒドロモルフォンをどう位置付けるか？～」

埼玉県立がんセンター 緩和ケア科 余宮きのみ

共催：第一三共株式会社

シンポジウム 6 ----- 13:15 ~ 14:45

オーガナイザー・座長：国立がん研究センター東病院 臨床研究コーディネーター室 酒井 隆浩

国立病院機構北海道がんセンター 薬剤部 玉木 慎也

承認前から関わるがん薬物療法

S6-1 治験におけるチーム医療に向けて－CRCの立場から－

国立がん研究センター東病院 臨床研究コーディネーター室 酒井 隆浩

S6-2 承認前からかかわるがん薬物療法～早期開発に関わる医師の立場から

国立がん研究センター東病院 消化管内科 設楽 紘平

S6-3 治験患者に対する病棟看護師としての関わり

がん研究会有明病院 消化器内科病棟 中岩優美子

S6-4 治験、臨床試験における薬剤師のかかわり

神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 平島 正樹





シンポジウム 7 ----- 15:00 ~ 16:30

オーガナイザー・座長：聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 湊川 紘子

国立病院機構四国がんセンター 薬剤部 小暮 友毅

分子標的薬の皮膚障害対策 ～最良の対策と薬剤師の役割について考える～

S7-1 がん薬物療法によって起こる皮膚障害の症状マネジメントとチーム医療の必要性について
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科 山崎 直也S7-2 抗 EGFR 抗体薬の皮膚障害に対する当院の多職種チームの取り組み
聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部 幕内 麻里S7-3 マルチキナーゼ阻害薬による皮膚障害とその対策
国立病院機構四国がんセンター 薬剤部 小暮 友毅S7-4 九州がんセンターにおける皮膚障害対策チームの発足から今日までの取り組み
国立病院機構九州がんセンター 薬剤部 魚井みゆき

シンポジウム 8 ----- 16:45 ~ 18:15

オーガナイザー・座長：東北大学大学院医学系研究科 山口 拓洋

東京薬科大学 医療実務薬学教室 川口 崇

薬剤師こそ臨床・研究で活用すべき！？ PRO-CTCAE による有害事象評価

S8-1 PRO-CTCAE の概要について
東京薬科大学 医療実務薬学教室 川口 崇S8-2 PRO-CTCAE 日本語版の開発と今後の展望
東京医科大学病院 薬剤部 東 加奈子S8-3 薬剤師が患者側から電子的に症状を報告できる仕組みを日常診療に取り入れるために
埼玉医科大学総合医療センター 薬剤部 佐野 元彦S8-4 PRO にまつわる最新の話
東京大学大学院医学系研究科 臨床試験データ管理学講座 宮路 天平

第5会場 (パシフィコ横浜3F 301号室)

シンポジウム 9 ----- 10:00 ~ 11:30

オーガナイザー：国立がん研究センター東病院 薬剤部 小室亜由美

オーガナイザー・座長：長崎大学病院 薬剤部 山口健太郎

座長：名古屋市立西部医療センター 薬剤部 佐藤由美子

情報収集でいかにがん治療の質を高めるか

～ JASPO メーリングリスト活用から実践的な情報活用まで～

S9-1 JASPO メーリングリストによる情報収集と有効活用方法
長崎大学病院 薬剤部 山口健太郎



- S9-2 がん薬物療法に関する医薬品情報の効率的な収集 ～医薬品情報室担当者の立場から
JA 北海道厚生連帯広厚生病院 薬剤部 佐藤 弘康
- S9-3 日常業務における医薬品情報収集の実際－病院薬剤師の立場から－
長崎大学病院 薬剤部 神田 紘介
- S9-4 日常業務における医薬品情報収集の実際－薬局薬剤師の立場から－
つちばし薬局 あその店 宮田 祥一

ランチョンセミナー 5 ----- 11:50 ～ 12:50

座長：一般社団法人 日本病院薬剤師会 遠藤 一司

- LS5 多発性骨髄腫における新規薬剤の役割
～初発から再発・難治まで～
徳島県立中央病院 血液内科 尾崎 修治

共催：セルジーン株式会社

シンポジウム 10 ----- 13:15 ～ 15:15

オーガナイザー・座長：小山記念病院 診療技術部薬剤科 花香 淳一

座長：がん研究会がん研有明病院 薬剤部 鈴木 賢一

実はみんな苦労している！？ レジメン管理の「コツ」を学ぼう！！

- S10-1 レジメンシステムを活用した中小病院のレジメン管理
小山記念病院 診療技術部 薬剤科 花香 淳一
- S10-2 レジメン管理 12 年間の試行錯誤 –レジメンの新規登録、維持管理をどのように行うか–
国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院 橋口 宏司
- S10-3 電子カルテシステム未導入の中規模病院におけるレジメン管理の実際と課題
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 薬剤部 森田 一
- S10-4 北海道消化器科病院におけるレジメン管理の現状と課題
北海道消化器科病院 薬剤部 地主 隆文
- S10-5 レジメン作成・管理の際に注意すべきポイント
がん研究会がん研有明病院 薬剤部 鈴木 賢一

大鵬薬品工業株式会社共催セミナー ----- 15:30 ～ 16:30

座長：社会医療法人社団木下会千葉西総合病院 薬剤部 香取 哲哉

大鵬薬品工業株式会社共催セミナー

「進行再発大腸癌化学療法の最新の話題～一次治療における CPT-11 の可能性～」

東京女子医科大学 八千代医療センター 化学療法科 倉持 英和

共催：大鵬薬品工業株式会社

シンポジウム 11 ————— 16:45 ~ 18:15

オーガナイザー・座長：日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 葉山 達也
座長：日本大学薬学部 薬剤師教育センター 堤 大輔

小児がんに関わる薬剤師の役割～様々な視点から見えてくるもの～

- S11-1 乳幼児に対する薬剤師の関わり
日本大学薬学部 薬剤師教育センター 堤 大輔
- S11-2 学童～AYA世代の小児がんにおける薬剤師の関わり
名古屋大学医学部附属病院 鳥本真由美
- S11-3 生きづらさを抱えて、住み慣れた地域で暮らすお子様を支えるために、薬局薬剤師にできること
ココカラファイン薬局砧店 川名三知代
- S11-4 小児がん治療の中で薬剤師に望むこと
日本大学医学部小児科 谷ヶ崎 博

第6会場 (パシフィコ横浜3F 302号室)

一般演題口頭発表① ————— 10:00 ~ 11:30

がん薬物療法

座長：慈山会医学研究所付属坪井病院 薬剤部 伊與田友和
地方独立行政法人栃木県立がんセンター 薬剤部 吉澤 朝枝

- O-01 進行性尿路上皮がん患者におけるGC療法による好中球減少症と生存期間の関連の検討
聖隷浜松病院 薬剤部 山本 圭祐
- O-02 Nivolumab投与継続性に対する早期免疫関連有害事象(irAE)の関わり
佐賀大学医学部附属病院 薬剤部 古野 龍也
- O-03 EGFR-TKIのdose intensityがT790M発現に与える影響についての後ろ向き調査
神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部、腫瘍内科 入江 慶
- O-04 当院におけるラムシルマブ併用レジメンの施行状況調査
友愛会 豊見城中央病院 薬剤科 上原 政文
- O-05 肺癌患者におけるラムシルマブ併用による有害事象への影響と治療効果
地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院 薬剤部 石部 大紀
- O-06 ペムブロリズマブを導入した非小細胞肺癌21例の検討
地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院 薬剤部 佐久間大樹
- O-07 トリフルリジン・チピラシル塩酸塩の投与における好中球数低下率による効果予測の検討
淀川キリスト教病院 薬剤部 榎原 克也
- O-08 Axitinib服用患者における甲状腺機能障害のリスク因子の探索および臨床的效果の検討
京都中部総合医療センター 薬剤部、京都大学医学部附属病院 薬剤部 春名 康裕
- O-09 非小細胞肺癌患者に対する抗PD-1抗体製剤の適正使用に関する調査
戸田中央総合病院 薬剤科 畠山 朋樹



ランチオンセミナー 6 ----- 11:50 ~ 12:50

座長：国立がん研究センター東病院 薬剤部 山口 正和

LS6 乳癌個別化治療に関わる多職種チーム医療の取り組み

埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科 佐伯 俊昭

共催：沢井製薬株式会社

一般演題口頭発表② ----- 13:15 ~ 14:15

副作用・支持療法

座長：公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 薬剤部 石原 泰子

国立病院機構相模原病院 薬剤部 齊藤 達也

O-10 レゴラフェニブによる手足症候群における外用保湿剤のアドヒアランスに影響する因子の解明
静岡県立静岡がんセンター 薬剤部 山脇 優輝

O-11 糖尿病患者における大腸がん化学療法の影響
岩手医科大学附属病院 薬剤部 小野寺 蓮

O-12 CHOP 療法におけるグラニセトロン の有用性と医療費抑制の検討
国立国際医療研究センター病院 薬剤部 内坪 敬太

O-13 タキサン系薬剤に起因する末梢神経障害発現についての検討
香川大学医学部附属病院 薬剤部 三崎 彩香

O-14 多発性骨髄腫における腫瘍崩壊症候群発症のリスク因子に関する後方視的研究
名古屋市立大学 薬学部 病院薬剤学 山内 歌恋

O-15 乳がん FEC 療法の発熱性好中球減少症に対するオランザピンの影響
岩手医科大学附属病院 薬剤部 大坂紗也佳

一般演題口頭発表③ ----- 14:25 ~ 15:25

副作用・支持療法

座長：株式会社ミヤイむつみ薬局 鎌沢 弦

国立がん研究センター東病院 薬剤部 竹野美沙樹

O-16 リポソーム化ドキシソルビシンの累積投与量が心機能に及ぼす影響に関する検討
静岡県立静岡がんセンター 薬剤部 原田 翔平

O-17 体表面積の相違による制吐効果の検討
日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部 内池 明博

O-18 静岡県立静岡がんセンターにおける卵巣癌患者へのベバシズマブの投与、高血圧発現状況とその管理について
静岡県立静岡がんセンター 薬剤部 櫻井 美満





- O-19 TS-1®により発現する副作用である流涙に寄与する要因の検討
旭川赤十字病院 薬剤部 近藤 智幸
- O-20 マンニトールによる頭頸部局所進行扁平上皮癌に対する低用量シスプラチン分割併用化学放射線療法の腎機能障害予防効果の検討
国立がん研究センター東病院 薬剤部 三浦 華歩
- O-21 カルボプラチン混和輸液 100mL・30分投与は血管外漏出のリスクを低下させる
横浜市立大学附属病院 薬剤部 坂本 靖宜

一般演題口頭発表④ 15:35 ~ 16:35

副作用・抗がん薬調製

座長：国立病院機構北海道がんセンター 薬剤部 玉木 慎也

国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部 井上 裕貴

- O-22 当院がん患者における医療用麻薬注射製剤使用状況と腎機能について
医療法人啓信会京都きづ川病院 薬剤科 久保美由紀
- O-23 デノスマブ投与による低カルシウム血症の発現状況とその予防投与の実態調査
一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院 薬剤部 町田 聖治
- O-24 北海道内におけるニボルマブ廃棄量の実態調査 (NEWHOPE STUDY) -中間報告-
旭川医科大学病院 薬剤部 相馬 亮太
- O-25 抗がん剤調製業務の効率化のための水平振とう器の導入
-アルブミン懸濁型パクリタキセル、シクロホスファミドでの使用成績-
石切生喜病院 薬剤室 野口 善久
- O-26 当院での曝露対策に関する取り組み -抗がん剤調製におけるネオシールドの有用性評価-
大阪大学医学部附属病院 薬剤部 村地 康
- O-27 当院における抗がん薬調製環境の調査結果とその考察
-国立病院機構ネットワーク共同研究に参加して-
国立病院機構東京医療センター 薬剤部 新島 大輔

一般演題口頭発表⑤ 16:45 ~ 18:15

症例報告

座長：医療法人社団善仁会小山記念病院 診療技術部薬剤科 花香 淳一

大阪薬科大学 内田まよこ

- O-28 胃癌腹膜播種患者に対してラムシルマブ + パクリタキセル療法とパクリタキセル腹腔内投与療法を併用した症例
益田赤十字病院 薬剤部 吉田 勝好
- O-29 多発性骨転移、顎骨壊死に対して高用量オピオイドを用いてコントロールを行った症例
国立病院機構 京都医療センター 薬剤部 辰己 晃造



- O-30 慢性骨髄性白血病患者に対する薬剤師外来の役割～ニロチニブのアレルギー症状が出現した2症例を通して
神戸市立西神戸医療センター 薬剤部 高柳 信子
- O-31 アキシチニブにより薬剤性破壊性甲状腺炎を呈した腎癌患者の一例
東北大学病院 薬剤部 鈴鹿 雅人
- O-32 外来化学療法中の患者に薬剤師が関わることで口腔白板症を早期発見した1例
名古屋市立大学病院 薬剤部 竹本 将士
- O-33 biweekly nab-PTX+GEM への変更により QOL が改善した一例
社会医療法人宏潤会 大同病院 薬剤部 新美 政樹
- O-34 G-SOX 療法後に意識障害を伴う高アンモニア血症をきたした1例
国立長寿医療研究センター 薬剤部 加藤 雅斗
- O-35 高齢者における癌化学療法初回投与時の減量の重要性を考察すべき1症例
東京慈恵会医科大学附属柏病院 薬剤部 岡田 和博
- O-36 乳癌心膜転移の一例
医療法人社団時正会 佐々総合病院 薬剤科 前田 匡輝

第7会場 (パシフィコ横浜3F 311+312号室)

ランチョンセミナー 7 _____ 11:50 ~ 12:50

座長：国立がん研究センター中央病院 薬剤部 寺門 浩之

- LS7 こんなに進んだ最新の非小細胞肺癌の治療戦略
～より良い生活を患者さんに届けるために～

兵庫県立がんセンター 化学療法担当 兼 呼吸器内科 里内美弥子

共催：日医工株式会社

第8会場 (パシフィコ横浜3F 313+314号室)

ランチョンセミナー 8 _____ 11:50 ~ 12:50

座長：がん研究会がん研有明病院 薬剤部 鈴木 賢一

- LS8 最新のガイドラインから考える大腸がん治療

島根県立中央病院 外科 金澤 旭宣

共催：持田製薬株式会社／ファイザー株式会社

